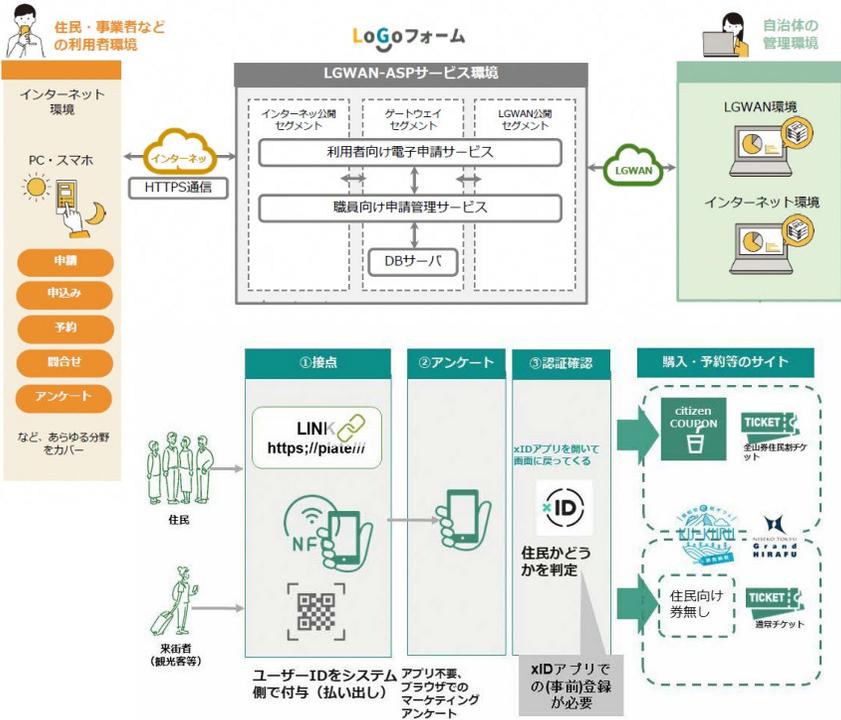
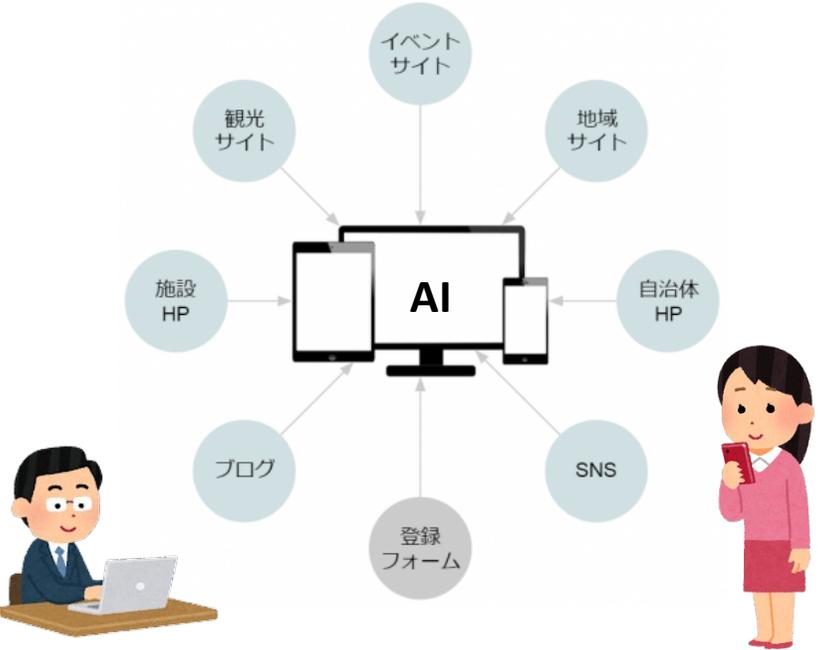


# 事業概要 【マイナンバーカードを活用したデジタルリゾートレジデンス事業】

自治体名	北海道倶知安町	人口	15,560人	事業費	30,430千円
事業概要	<p>マイナンバーカードの認証機能を用いたデジタルアプリであるxIDを用いて本人確認が必要な手続きをスマホを使ってより簡単なオンライン申請や処分通知のデジタル化等を実現する。また、xIDの本人確認機能を用いてリゾートの各種サービスについて官民連携で町民割引を実施する等、国際的なスキーリゾートを抱える本町のオーバーツーリズム対策や観光の地域理解促進にも活用できる仕組みを整備する。</p>				
具体サービス	<p><b>【電子申請システム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・xIDアプリ：マイナンバーカードを活用した「公的個人認証」</li> <li>・ノーコード電子申請システム「LoGoフォーム」：自治体職員が電子申請や申込予約、アンケートなどのフォームを作成・集計し、一元管理</li> </ul> <p><b>【ローカル割構築】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・xIDアプリ：マイナンバーカードを活用した「町民判定」によるリゾートサービス（スキーリフト券やレストハウス飲食など）のローカル割摘要</li> <li>・スマートプレート：リゾートのサービス導線を構築し、導線の一部にローカル割への分岐を設定</li> </ul>		 <p>The diagram illustrates the system architecture and user flow. On the left, it shows the user environment (Internet, PC/Smartphone) interacting with the LoGo Form system via HTTPS. The LoGo Form system is hosted on LGWAN-ASP and includes services for users and staff, connected to a database. On the right, it shows the LGWAN environment and Internet environment. Below, a user flow diagram shows residents and tourists using the xID app for identification, accessing services like LINK (https://piatei//), and receiving discounts (Citizen Coupon, Resident Discount) or tickets (Resort Ticket, Ski Lift Ticket) based on their status.</p>		
主なKPI	<p><b>【アウトプット指標（活動指標）】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①電子申請対応手続き数</li> <li>②マイナンバーカード等利用手続き数</li> <li>③ローカル割活用数</li> </ol>	<p><b>【アウトカム指標（成果指標）】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①電子申請システム導入に伴うアナログ対応時間の削減効果</li> <li>②利用者の満足度</li> </ol>			

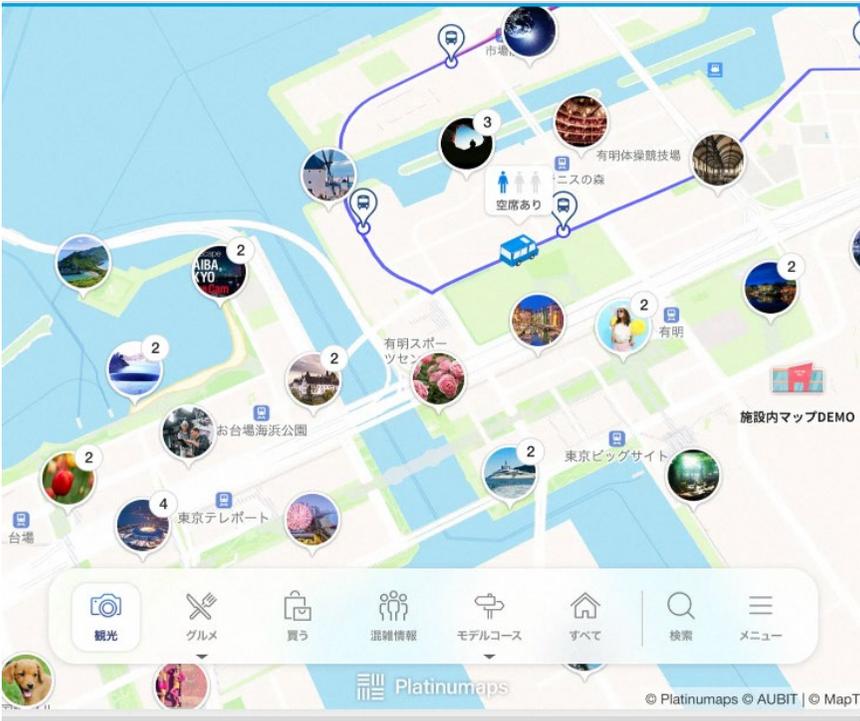
# 事業概要 【イベントの一元管理及び宿泊情報提供事業】

自治体名	青森県青森市	人口	267,794人	事業費	3,740千円
事業概要	<p>無数にあるサイトのページから、市内で開催されるイベントの情報を1つのWebサイトへ自動集約し、効率的に地域住民や観光客に配信する。</p> <p>また、イベント企画者向けに、前年度の宿泊施設混雑状況を提供するとともに、観光客向けに宿泊プラン比較検索機能も提供し、イベントや観光客の平準化を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【AIイベント情報等集約サービス】</p> <p>①AIを活用した自動情報収集プログラムによって、WEB上に公開されているイベント情報をオリジナルのWEBサイトに自動的に集約し、効率的に地域住民や観光客に配信。</p> <p>②前年度の市内宿泊施設の客室稼働率をカレンダー上で可視化。</p> <p>③宿泊プランの比較検索サービスにより、ニーズに合った宿泊プランを提供。</p>		 <p>The diagram illustrates the AI-based information aggregation service. At the center is a computer monitor labeled 'AI'. Arrows point from various data sources to the AI: 'イベントサイト' (Event Site), '観光サイト' (Tourism Site), '地域サイト' (Local Site), '施設HP' (Facility HP), '自治体HP' (Municipal HP), 'SNS', '登録フォーム' (Registration Form), and 'ブログ' (Blog). Below the diagram, there are two illustrations: a man in a suit sitting at a desk with a laptop, and a woman in a pink top and red skirt holding a smartphone.</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①サイトアクセス件数</p> <p>②エリア別アクセス件数</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①宿泊者数</p> <p>②観光入込客数</p> <p>③サイト利用者の満足度</p>		

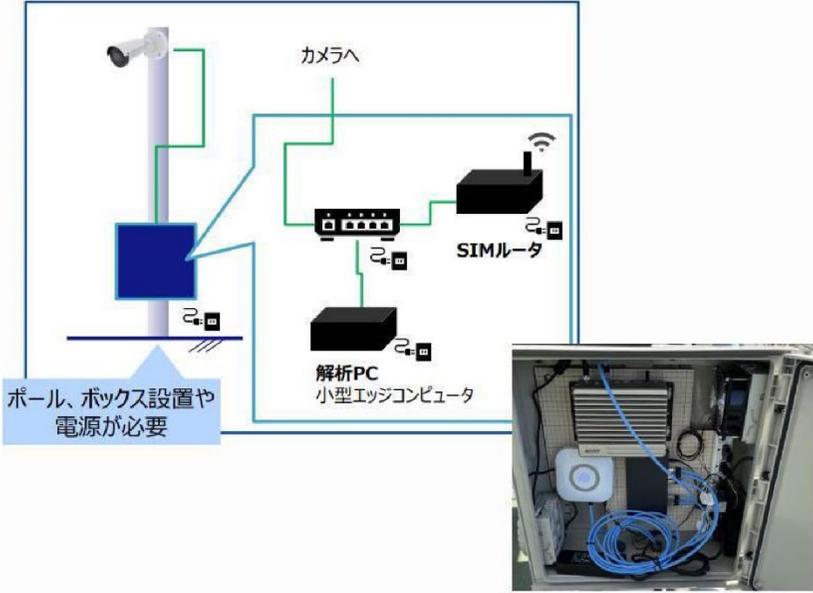
# 事業概要 【観光DX推進事業】

自治体名	岩手県奥州市	人口	109,942人	事業費	3,537千円
事業概要	<p>奥州市の観光情報発信は紙媒体のパンフレットと対面での観光案内が中心であり、その発信方法から観光情報へのアクセス難易度やインバウンド対応などが課題となっている。デジタルマップ及びデジタル観光コンシェルジュを導入することで観光案内機能を強化し、旅行者の利便性の向上と周遊性の強化を図る。あわせて、旅行者の動向把握・分析を行い、効果的なプロモーション手法や観光誘客事業を検討・実施する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>観光情報発信・案内を一元的に管理・提供する「デジタルプラットフォーム」を整備する。</p> <p>【デジタルマップサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光情報を電子媒体で提供。パソコンやスマートフォンからアクセス。</li> <li>マップと観光スポットを同一画面で確認可能。</li> <li>現在地から観光スポットまでのルート検索が可能。</li> <li>多言語対応（機械翻訳）による閲覧が可能。</li> <li>利用データより観光客の動向把握・分析が可能。</li> </ul> <p>【デジタル観光コンシェルジュサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光案内所において、多言語対応のタッチパネル式サインージで観光案内を実施。前述のデジタルマップを展開。</li> <li>市内の観光スポットと交通手段、飲食店や物産等の検索に自動応答。</li> <li>利用者数や検索数などの統計情報を取得可能。</li> </ul> <div data-bbox="1100 454 1982 1186" style="text-align: right;"> <p>【デジタルマップ】 観光情報をパソコンやスマートフォンで検索</p> <p>案内 INFORMATION</p> <p>・外国人旅行者にも多言語で対応 →誰もが旅行しやすいまちづくり</p> <p>デジタル観光コンシェルジュ</p> <p>【デジタル観光コンシェルジュ】 同一のサービスプラットフォーム（デジタルマップ）を観光案内所で提供</p> <p>・スマホに先行や経路情報を連携 →市内の周遊観光促進</p> </div>				
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①デジタルマップアクセス数</p> <p>②コンシェルジュサービスの利用回数</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①利用者の満足度</p>		

# 事業概要 【デジタルマップを活用した新庄まつり山車位置情報発信事業】

自治体名	山形県新庄市	人口	32,914人	事業費	2,650千円
事業概要	<p>デジタルマップから観光情報を取得できるコンテンツを作成し、観光客の誘客を図るとともにデータ分析機能を活用し、今後の観光振興施策に役立てる。</p> <p>また、ユネスコ無形文化遺産登録された「新庄まつりの山車行列」の山車にGPSを装着することでデジタルマップ上でどの場所に山車がいるのか可視化することで観光客等の満足度の向上を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p><b>【デジタルマップの制作・公開】</b> デジタルマップ上に市内の観光施設や飲食店、お土産店などを登録し公開する。</p> <p><b>【新庄まつり山車位置情報システムの構築・公開】</b> 新庄まつり期間中（8/24～26）に山車にGPSを装着することでデジタルマップに表示させ、どの場所で山車が見られるかわかるようにする。</p> <p><b>【利用者データの分析・活用】</b> デジタルマップの利用者の性別、年齢、国籍などを分析し観光分野におけるEBPMを推進する。</p>				
<p>主なKPI</p>	<p><b>【アウトプット指標（活動指標）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①デジタルマップへのアクセス数</li> <li>②スタンプラリーの参加者数</li> <li>③</li> </ul>		<p><b>【アウトカム指標（成果指標）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①観光客入込数</li> <li>②スタンプラリー参加者の満足度（アンケート）</li> <li>③デジタルマップ利用者の満足度（アンケート）</li> </ul>		

# 事業概要 【屋外施設混雑状況把握対策事業】

自治体名	茨城県五霞町	人口	8,083人	事業費	7,329千円
事業概要	<p>本町にある屋外施設（Street sports park Goka及びラジコンパークGoka）は、若者やラジコン愛好者を中心に、現在は無料開放の施設として多くの来場者が訪れる一方で、営業時間内は管理者が無人で利用・混雑状況が不明なのが現状である。本事業では、それぞれの屋外施設の出入口に人数カウントシステムを設置し、混雑状況をリアルタイムで公開し、来場者の利便性向上を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【Street sports park Goka】 ・機器導入（カメラ1台ほか）</p> <p>【ラジコンパークGoka】 ・機器導入（カメラ3台ほか） ・配線工事等</p> <p>設置したカメラにより、施設に入る人（IN）と施設から出る人（OUT）を常時認識する。認識した人数により、リアルタイムで4つの区分「空いている」「やや空いている」「やや混んでいる」「混んでいる」に自動判別し、町公式ホームページから混雑状況閲覧サイトにアクセスして確認できるよう、専用ページを公開する。</p>	 <p>カメラへ</p> <p>カメラ</p> <p>ポール、ボックス設置や電源が必要</p> <p>SIMルータ</p> <p>解析PC 小型エッジコンピュータ</p>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①混雑状況確認ページ閲覧数（Street sports park Goka）</p> <p>②混雑状況確認ページ閲覧数（ラジコンパークGoka）</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①利用者の満足度（Street sports park Goka）</p> <p>②利用者の満足度（ラジコンパークGoka）</p>			

# 事業概要 【デジタル復元による城下町魅力発信事業】

自治体名	栃木県那須烏山市	人口	24,100人	事業費	11,000千円
事業概要	<p>本市総合計画の重点戦略である「選ばれる観光地域づくり」を実現するため、烏山城跡や城下の町割りをデジタル復元して烏山城跡を中心に城下を周遊するコンテンツを作成して観光客の誘客を図りながら、お食事処や甘味処での食べ歩きが出来るまちなか周遊を推進する。また、歴史的資源である烏山城跡の活用により、歴史の学びの場の提供や市民郷土愛の醸成を促進する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【ARコンテンツの作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>CG動画等の作成 登城する際に城郭などをCG再現 発掘調査で出土した資料画像の再生 城跡のガイダンス機能</li> <li>城跡や城下周辺マップの作成 町割り図を現況に重ねて城関連施設をCG再現 まちなかの散策ツール</li> </ul> <p>【コンテンツ利用者満足度調査システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者のアンケート調査 ARコンテンツ中に利用者アンケート機能を追加</li> </ul>		 <p>ブラウザやアプリを使ったコンテンツの作成</p> <p>CG動画 城跡図</p> <p>利用者のアンケート調査</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①ARコンテンツへのアクセス数</li> <li>②ARコンテンツ利用者満足度調査システム回答者数</li> <li>③</li> </ol>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①コンテンツ利用者の満足度</li> <li>②烏山城跡観光客入込数（増加分）</li> <li>③</li> </ol>		

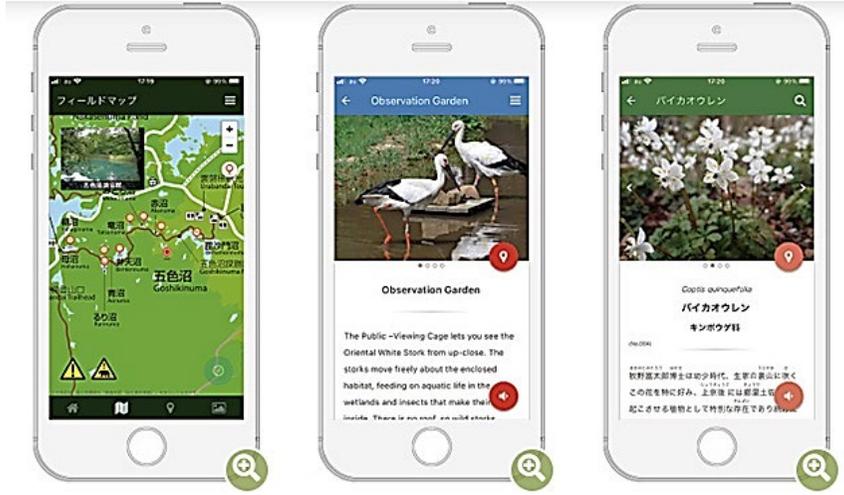
# 事業概要 【観光情報デジタル化推進事業】

自治体名	千葉県神崎町	人口	5,686人	事業費	660千円
事業概要	神崎町は利根川に面し、豊かな水と肥沃な大地に恵まれた自然豊かなまちです。町に古くから根付いている「発酵文化」を体験し、感じられる町内の観光名所を紹介する「ことりっぷ」の電子書籍版を作成します。また、町HPや広報誌、SNSなどの媒体や銚子から東京駅まで運行する高速バスにラッピングし多くの人に神崎町の魅力を知ってもらえるよう取り組みます。				
具体サービス	<p>【提供サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ことりっぷ-発酵さんぽ神崎-の電子書籍版の作成及びことりっぷメディアでの配信を行います。</li><li>・銚子から東京駅を運行する高速バスに電子書籍版ことりっぷのQRコード等の情報をラッピングし、多くの方に神崎町の観光名所を知っていただき、実際に町を訪れた際にはスマートフォンで電子書籍版を見ながら観光できます。</li></ul>				
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①電子書籍版閲覧数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①観光交流拠点（道の駅）来場者数</p> <p>②電子書籍閲覧者の満足度</p>			

# 事業概要 【デジタルスタンプラリー事業】

自治体名	東京都荒川区	人口	219,243人	事業費	173千円
事業概要	<p>デジタルスタンプラリーは、参加者自身のスマートフォンを活用することにより、イベント実施者側で物理的な設備・消耗品を用意する必要がなかったり、参加者情報（アンケートなど）の集約が容易であることなどから、主催者側の省力化や情報活用の面で優れている。この優位性を活かし、区外からの来街を促し区内での消費を喚起する目的で本事業を実施する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>区内のスポット回遊するデジタルスタンプラリーを実施する。                  スポット数は10か所～15か所程度を想定する。                  テーマをあらかじめ決め、そのテーマに沿ったスポットを選定する。                  （テーマ例：「昭和感の残る街並み」「鉄道スポット」「バラ・さくらスポット」「町工場」）                  システムについては、デジタルスタンプラリーの専門業者提供システムを利用することを想定している。</p>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 応募者数</li> <li>②</li> <li>③</li> </ul>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 参加者アンケートの満足度</li> <li>②</li> <li>③</li> </ul>		

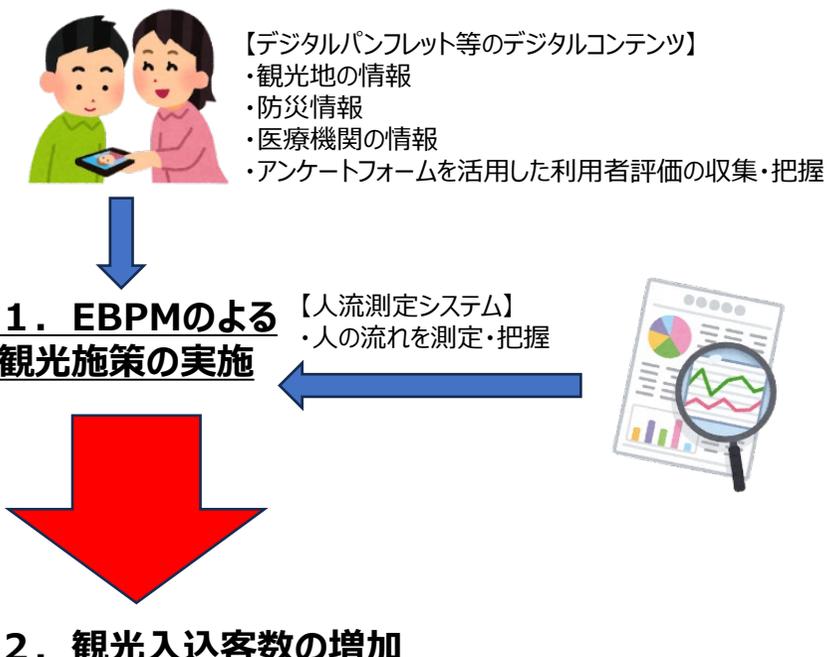
# 事業概要 【箱根湿生花園デジタル化事業】

自治体名	神奈川県箱根町	人口	10,941人	事業費	3,646千円
事業概要	<p>広大な敷地や複雑な園路配置による利用者の道迷いの発生、四季折々の植物の紹介が解説版・パンフレットなどの情報に限られている課題について、スマホを利用した園内展示解説用デジタルシステムを構築し、園内のGPSナビゲーションやセルフガイドシステム、多言語表示などの機能で観光コンテンツとしての充実を図り、園内周遊の魅力・利便性の向上をめざす。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【園内展示解説用デジタルシステム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>来園者は施設のWi-Fi環境下でQRコードをスマホで読み取り情報へアクセス（アプリ等のインストール不要）</li> <li>GPS連動マップ、スポット解説、写真・動画ギャラリー、多言語表示、音声読上機能</li> </ul>		 <p>フィールドマップ画面 裏磐梯 QRガイド</p> <p>スポット画面（英語） コウノトリの郷公園</p> <p>みどころ・植物案内画面 まきの QRガイド</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①デジタルガイドシステムアクセス数</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①施設利用満足度</p>		

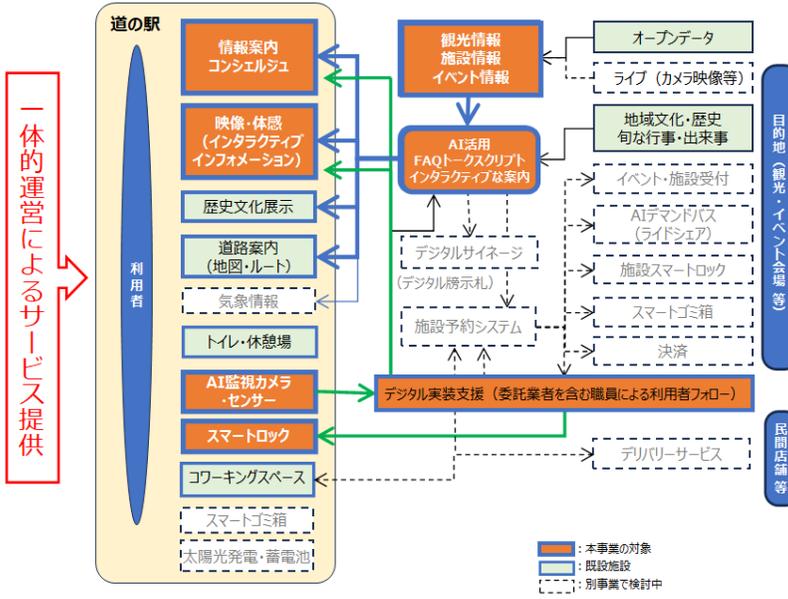
# 事業概要【チューリップ四季彩館多言語音声ガイド導入】

自治体名	富山県砺波市	人口	47,065人	事業費	1,233千円
事業概要	<p>砺波市の観光施設「チューリップ四季彩館」は砺波市の花であり特産品でもあるチューリップ（チューリップ球根出荷量日本一）についての情報を多くの人に知ってもらうための情報発信の拠点として、また、一年中チューリップが咲く世界唯一の施設として、砺波チューリップ公園に隣接して建設されました。</p> <p>特別な栽培方法で一年中チューリップが咲き、チューリップと季節の花の展示とチューリップに係わるあらゆる情報を紹介する資料室で観光客に楽しんでいただいています。</p> <p>今回、多言語音声ガイドを導入することにより、観光客がいつでも展示物の説明を聞くことが出来るようにしてサービス向上を図るものです。特に、多言語に対応することにより、外国人観光客に対して、通訳やガイドを介さずにより一層施設の魅力を味わっていただくものです。</p>				
具体サービス	<p>【多言語音声ガイド】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラウザ型スマートフォン音声ガイド</li> <li>・QRコードからすぐにアクセス出来る</li> <li>・日本語、英語、中国語の多言語に対応</li> <li>・チューリップ四季彩館内、15か所に設置</li> </ul>				
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①多言語音声ガイドページのアクセス数</li> <li>②</li> <li>③</li> </ol>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①多言語音声ガイドの満足度</li> <li>②</li> <li>③</li> </ol>		

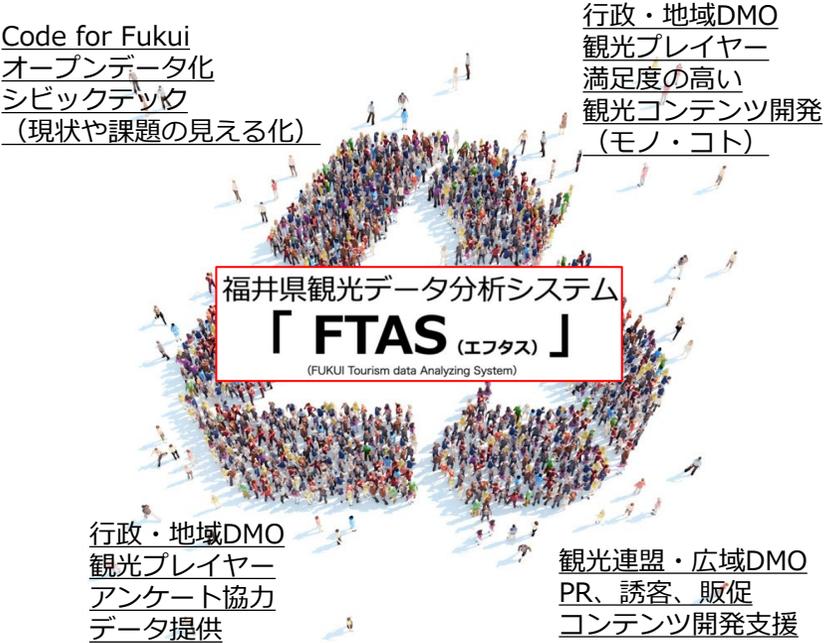
# 事業概要 【観光データ収集・活用事業】

自治体名	石川県七尾市	人口	48,352人	事業費	11,000千円
事業概要	<p>観光入込客数を増やすためデジタルパンフレット等のデジタルコンテンツ、人流測定システムを運用し観光データを収集、活用しEBPMにより、より良い観光施策を実施する。デジタルパンフレット事業では、市内観光地の情報に加え、防災情報や医療機関の情報などを多言語で掲載し、だれでも平時、非常時問わず安心して情報を得ることができる環境をつくる。市内観光の満足度を高め、観光消費を促進することで市民生活への好循環につなげる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【デジタルコンテンツ】 市内観光地の情報に加え、防災情報や医療機関の情報などを多言語で掲載し、だれでも平時、非常時問わず安心して情報を得ることができるデジタルパンフレットを作成する。アンケートフォームの活用により、利用者評価の収集・把握を行う。</p> <p>【人流測定システム】 「年齢」、「性別」、「関心が高い検索キーワード」などのデータを取得し、人の流れを把握することで観光施策に反映する。</p>	 <p>【デジタルパンフレット等のデジタルコンテンツ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光地の情報</li> <li>・防災情報</li> <li>・医療機関の情報</li> <li>・アンケートフォームを活用した利用者評価の収集・把握</li> </ul> <p>↓</p> <p><b>1. EBPMによる観光施策の実施</b> ← 【人流測定システム】 ・人の流れを測定・把握</p> <p>↓</p> <p><b>2. 観光入込客数の増加</b></p>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①デジタルパンフレット利用者数</li> <li>②人流分析データ公開ホームページのアクセス数</li> </ul>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①観光入込客数</li> <li>②市内観光地の来訪者満足度</li> </ul>			

# 事業概要 【津幡町道の駅「倶利伽羅源平の郷」のデジタル活用事業】

自治体名	石川県津幡町	人口	37,439人 (R5.12.1)	事業費	39,024千円
事業概要	<p>津幡町の道の駅「倶利伽羅源平の郷」の運営・施設管理における地元人員の高齢化や人材不足に対して、デジタル技術の活用により、人手により行われてきた案内受付、施設運營業務の補完を進めるとともに、省人化による「無機質感」や「賑わい低迷」の解消として、施設利用者の特性に合わせた地域固有の情報コンテンツや映像による情報発信機能を組み込み、賑わい創出・集客力の向上、周辺の地域活動に誘引する「津幡のゲートウェイ（玄関口）」「津幡の体感ポータル（興味の入口）」となる「道の駅」拠点を目指す。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p><b>(1) 来訪者・インバウンド対応への「AI案内」</b>                  ・24時間サービス提供する道の駅において、施設案内や施設予約、近隣観光案内など、無人でも音声会話による24時間の問い合わせ一次対応を実現する。</p> <p><b>(2) 空間活用した「インタラクティブ・インフォメーション」</b>                  ・津幡町の自然や歴史・文化を大型パネルで画像紹介し、画面タッチ操作により訪問者がカテゴリーを選択して画像拡大・縮小や文字・音声でインタラクティブな情報確認できる。</p> <p><b>(3) AIカメラやスマートロックで施設利用の機会拡大</b>                  ・通常営業時間帯以外の需要に応じた施設利用の仕組みと安全安心の確保（防犯・セキュリティ対策）。</p> <p><b>(4) 利用者ニーズと利用実績に基づくサービス切替え</b>                  ・時節の近隣イベント・祭り等、住民・利用者ニーズと連動した展示物（コンテンツ）の切替え、フロアプランの更新による地域一帯での賑わい醸成・相乗効果を実現する。</p>				
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①AI案内サービスの利用数                  ②インタラクティブ・インフォメーションの利用件数                  ③スマートロック利用数</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①AI案内サービスに対する満足度                  ②インタラクティブ・インフォによる町の理解度向上                  ③道の駅 来訪者数、展示場入館者数</p>		

# 事業概要 【観光DX推進事業】

自治体名	福井県	人口	743,813人	事業費	44,392千円
事業概要	<p>北陸新幹線福井敦賀開業後の交流人口拡大、インバウンドの回復を見据え、県下全域を管轄する地域連携DMOとの連携により、福井県を訪れる観光客のマーケティングデータを収集し、データベースの構築やAI等による分析を行い、成果を市町職員や地域の観光を担うプレイヤーに還元することで、観光客の傾向に沿った観光商品の開発・販売等を地域に促し、観光客の満足度や観光消費額の向上につなげる。そのデータマーケティングに必要なデータ収集、分析、提供するための仕組みを構築する。</p>				
<p>具体的なサービス</p>	<p>様々な方法でデータ収集を行い、福井県観光連盟HP内にある「福井県観光データ分析システム（FUKUI Tourism data Analyzing System）」FTAS（エフタス）へ集約し、すべてオープンデータ化する。また、オープンデータを分析の知識がない事業者にも使用できるような、分析ツールの開発を行う。</p> <p>【今年度収集したい具体的なデータ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートデータ</li> <li>・宿泊予約データ</li> <li>・入込データ</li> </ul> <p>【具体的な見える化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福井県の90日先の宿泊予約データをエリアごとに確認できるツールを作成 等</li> </ul>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>FTAS（福井県観光データ分析システム）活用数（UU数）</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>福井県での1人あたりの観光消費額 マーケティングデータ収集システムの満足度</p>			

# 事業概要 【デジタルサイネージを活用した周遊観光事業】

自治体名	福井県鯖江市	人口	68,390人	事業費	3,900千円
事業概要	<p>JR鯖江駅構内の鯖江市観光案内所にタッチパネル式デジタルサイネージを設置し、円滑な観光案内を促進するほか、市の基幹産業である、眼鏡、繊維、越前漆器の工房を映像化しデジタルサイネージで配信することで産業観光を推進する。また、商店街や飲食店と連携し、観光施設と商業、飲食を結び付け観光客の滞在時間増加を狙う。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【デジタルサイネージ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鯖江市観光案内所にタッチパネル式デジタルサイネージを設置する。</li> <li>視覚的な観光施設の紹介（西山公園、めがねミュージアム、うるしの里会館、照誠寺など）</li> <li>眼鏡、繊維、越前漆器の工房の様子を写真、映像で配信。→実際に訪れてみたいくなるように誘導。工房ショップの紹介。</li> <li>多言語化によるインバウンド対応。</li> <li>定額タクシー、バス運行ツールの紹介</li> <li>災害時等、緊急情報の発信</li> </ul>		 		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>サービスの利用人数</li> <li>サービス利用者満足度</li> </ol>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>観光客入込数の増加</li> <li>観光消費額の増加</li> </ol>		

# 事業概要【デジタルコンテンツ活用推進事業】

自治体名	長野県中野市	人口	42,615人	事業費	2,783千円
事業概要	<p>AR（拡張現実）などのデジタルコンテンツを活用した、新たな手法による「市内回遊性促進事業」を実施し、市の魅力を効果的に発信することで、認知度及びブランド意識の向上などにより、交流人口及び関係人口の創出・拡大を促進し、地域の活性化を図る。また、専用アプリケーションにより出現させるARコンテンツのイラストには、本市ゆかりの漫画作品の訴求力を活かしたイラストを使用し、聖地巡礼などによる相乗効果を図る。</p>				
<p>【デジタルコンテンツを活用した市内回遊事業】</p> <p>対象：観光客及び漫画作品のファンなど</p> <p>本市ゆかりの漫画作品に登場するキャラクターのAR（拡張現実）コンテンツを市内の特定箇所へ配置し、専用のアプリにより現実の空間へ表示する。また、各ARスポットへは会話機能（チャット）を通じて市内各地へ誘導し、いわゆる「押し活」等を楽しんでいただくとともに、実際に回遊することで本市の魅力を直接体感していただく。</p> <p>また、訪れたスポットに応じてARコンテンツの取得などのインセンティブを用意。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1100 472 1514 1148"> <p><b>市内ARスポット</b></p>  </div> <div data-bbox="1514 472 1980 1148"> <p><b>ARコンテンツ イメージ</b></p>  </div> </div>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①ARアプリのダウンロード数</li> <li>②ARコンテンツの出現数</li> </ul>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①市内回遊者数の増加</li> <li>②交流人口等の増加</li> <li>③ユーザー満足度の向上</li> </ul>		

# 事業概要 【観光・文化デジタル化事業】

自治体名	長野県坂城町	人口	13,373人	事業費	3,949千円
事業概要	<p>既存の観光、文化財等のマップをデジタル化し、マップ上に位置情報を表示することで、観光客等がスマートフォン一つで手軽に観光できるようにする。また、多言語に対応することで、外国人観光客や外国人居住者のニーズに対応し、町内の観光・文化に触れてもらう機会を創出する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【観光・文化財デジタルマップ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光・文化財マップを一体的にデジタル化</li> <li>マップ上に利用者の位置情報を表示</li> <li>観光・遺跡・山城等、分類ごと検索可能</li> <li>指定文化財の一部に、内部3D画像を掲載</li> <li>施設の詳細情報は町HPとリンク</li> <li>多言語対応</li> </ul> <p>【トレッキングマップ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>トレッキングマップをデジタル化</li> <li>マップ上に利用者の位置情報を表示</li> <li>多言語対応</li> </ul>	<div style="text-align: center;">  <p>デジタル化</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶マップ上に位置情報を表示 </li> <li>▶利用者の目的に応じ検索可能</li> <li>▶一部文化財に3D内部画像掲載</li> </ul>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①観光・文化財デジタルマップアクセス数</li> <li>②トレッキングデジタルマップアクセス数</li> <li>③</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①観光・文化財デジタルマップ利用満足度</li> <li>②トレッキングデジタルマップ利用満足度</li> <li>③観光客数</li> </ol>			

# 事業概要 【デジタルサイネージ導入による情報発信】

自治体名	長野県小布施町	人口	11,014人	事業費	17,533千円
事業概要	小布施町のイベント情報や行政情報、町内周遊バスの現在位置や遅延情報のほか、地域事業者の広告、地域情報・イベント等を町内各所に設置するデジタルサイネージで配信し、情報発信の強化および地域の活性化を目的とする。				
具体サービス	<p>【デジタルコンテンツの配信】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>時間帯により配信情報内容を変更し、対象者の属性に応じた情報を届ける。</li> <li>行政情報、イベント情報、地域事業者の広告、地域情報等</li> </ul> <p>【バスロケーションシステム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町内周遊バス「おぶせロマン号」の運行情報、位置情報、遅延情報を表示</li> </ul>	<p>コンテンツデータ 行政情報 広告</p> <p>クラウド型サイネージシステム</p> <p>バスロケーションシステム</p> <p>デジタルサイネージ (ロマン号停留所に設置)</p> <p>ロマン号現在位置 観光情報</p> <p>おぶせロマン号</p>			
主なKPI	<p>【アウトプット指標 (活動指標)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①バスロケーションシステム利用者数</li> <li>②サイネージ利用者数</li> </ol>	<p>【アウトカム指標 (成果指標)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①サイネージの利用者満足度</li> <li>②町内美術館 3 館の合計入館者数</li> <li>③小布施ロマン号の乗車券販売数</li> </ol>			

# 事業概要 【野沢温泉DMO DXプラットフォーム構築事業】

自治体名	長野県下高井郡野沢温泉村	人口	3,316人	事業費	16,000千円
事業概要	<p>予約、決済、案内等をデジタル化、外部システムを内製化することで、お客様の利便性と、地域事業者の生産性を改善するために、地域独自のDXプラットフォームを構築する。また、同プラットフォームをDMOが運営することで、現状では村外に流出している手数料、データを還流させる「データとお金の村内循環を」実現する</p>				
<p>具体サービス</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>A) 野沢温泉DMOポータル：情報発信中心の観光協会ホームページにサービス予約、申込の機能を追加し、統合ポータルに進化させる</p> <p>B) デジタルサイネージ：来村中のお客様に向けた、地域をより深く体験できる情報発信を強化する</p> <p>C) 自社予約サービスの一括大口導入：事業者ごとに導入している外部DXサービスを、一括大口導入、内製化することで地域全体のDX化費用を削減、DX化推進による生産性向上を実現。DMOポータルとの連携により集客力の強化、DMO独自財源を確保する</p> <p>D) 宿泊施設でのリフト券チャージ販売：宿で販売するICカードにリフト券データをスマホでチャージできるようにすることで、お客様の利便性を維持しつつ、宿泊施設の業務効率を改善する</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>A)野沢温泉DMOポータル 施設横断での空室検索、宿泊予約受付 リフト券販売、レンタル受付など</p> <p>B)デジタルサイネージ 来村中のお客様への情報発信 DMOポータルの機能提供</p> <p>C)自社予約サービスの一括大口導入 宿泊施設のDX化費用削減、生産性向上 DMOポータルを通じた集客 DMO独自財源の確保</p> <p>D)宿泊施設でのリフト券チャージ販売 DMO独自ICカードの販売 リフト券データのスマホでのチャージ お客様の利便性指示と宿の業務効率向上</p> </div> </div>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 野沢温泉DMOポータルの登録事業者数</li> <li>② デジタルサイネージの閲覧者数</li> <li>③ 自社予約サービスを通じた予約比率</li> <li>④ リフト券のチャージ購入の延べ日数</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 野沢温泉DMOポータル利用者の満足度</li> <li>② デジタルサイネージによる滞在体験の改善度</li> <li>③ 自社予約サービスの生産性向上度</li> <li>④ リフト券チャージ販売による業務負担改善度</li> </ol>			

# 事業概要 【ビッグデータを活用した誘客・周遊促進】

自治体名	静岡県浜松市	人口	789,478人	事業費	23,958千円
事業概要	<p>人流データや検索データ等のビッグデータを収集し、市内の観光施設や中心市街地の商業施設等への来訪者の行動傾向やニーズの分析を行い、その分析結果について市内の関連事業者への共有や効果的なデジタル広告の発信等に活用することで、個人旅行者等の呼び込みと市内周遊の促進による消費額の増加へと結び付け、本市の観光振興及び宿泊業・商業等の関連産業の活性化を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【ビッグデータを活用した誘客・周遊促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域の人流データ（観光拠点・中心市街地）や検索データを収集</li> <li>• 収集したデータについて地域のDMOと共同で分析を行い、地域内の関連事業者向けの観光マーケティングレポートを定期的に提供</li> <li>• 収集したデータ分析結果を活用した国内向けの観光誘客（宿泊予約サイト（OTA）と連携したキャンペーン展開、SNS・WEB広告配信 等）</li> </ul>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①WEB広告のクリック数</li> <li>②観光マーケティングレポートサイトのPV数</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①観光交流客数</li> <li>②宿泊者一人あたりの旅行消費額</li> </ol>			

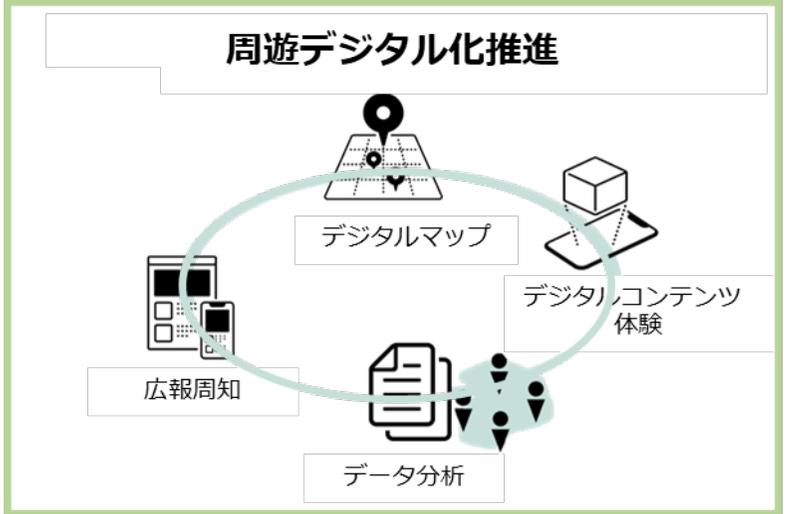
# 事業概要 【仮想空間（マイクラフト）上の高天神城と城砦軍・城下町事業】

自治体名	静岡県掛川市	人口	115,508人	事業費	2,294千円
事業概要	<p>令和5年度にマイクラフトというゲームの仮想空間上に高天神城を復元。次年度以降は、築城された城砦などもマイクラフトで構築、さらには城下町を構築し拡張していくとともに、そのバーチャル空間で掛川の特産品等を展示、販売できるようユーザーにビジネス空間として利用してもらえるような環境を提供していく。</p> <p>ゲームを通じて自身が歴史を深掘りしたり、現地に訪れる契機となっただく。また、掛川茶など掛川市の特産品を知り、また購入機会まで提供し、経済効果に繋げる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>コンピューターゲーム「マイクラフト」上に高天神城を復元。ゲームを通じて掛川の歴史を学ぶとともに、地域の特産品を紹介。</p> <p>【歴史資源学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高天神城ワールドデータに城砦群や歴史紹介コンテンツを追加。ゲームを楽しみながら地域の歴史を学べる場とする。</li> </ul> <p>【魅力発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>城下町を整備し、掛川茶など地域の特産品をPR。</li> </ul>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①高天神城コンテンツのダウンロード数</li> <li>②市HPのアクセス件数</li> <li>③</li> </ol>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①高天神城来場者数</li> <li>②</li> <li>③</li> </ol>		

# 事業概要 【デジタル技術を活用した知立市の魅力発信パッケージ事業】

自治体名	愛知県知立市	人口	72,214人	事業費	44,891千円
事業概要	<p>ユネスコ無形文化遺産に登録された「知立の山車文楽とからくり」等の魅力ある歴史コンテンツをデジタルコンテンツ化するとともに、それを活用し、市の魅力を最大限に発信するための体験型デジタルコンテンツを導入することで、観光体験をより魅力的にする。これにより、知立市の歴史文化を知り、それに誇りを持ち、「知立市への観光を勧めたい」と思う市民の割合上昇を目指し、その相乗効果による知立市のにぎわいの創出を目指す。導入するソリューションについては効果的な循環を目的としたパッケージで導入する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p><b>【XR機能を活用した体験型サービス】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2年に1回、2日間でしか体験できないユネスコ無形文化遺産に登録された、「知立の山車文楽とからくり」をXR上でいつでも体験できる。</li> <li>自宅で楽しめるXRコンテンツ、現地で楽しめるARコンテンツを作成し、市の魅力の発見→現地への送客も目指す。</li> <li>現地で楽しめるコンテンツについては、来訪者の満足度の向上も図る。</li> </ul> <p><b>【プロジェクションマッピングサービス】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市街地や集落、歴史的観光資源等の歴史的な変遷、連続異性を視覚的に理解できるプロジェクションマッピング。</li> <li>文化歴史遺産のプロット。</li> </ul> <p><b>【自撮り型写真撮影サイネージサービス】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>知立市来訪の思い出を写真データとして来訪者に配布することが可能なサイネージを設置。</li> <li>利用者のSNS発信等を促す、魅力発信新手法。</li> </ul>		<p><b>【XR機能を活用した体験型サービス】</b></p>  <p><b>【プロジェクションマッピングサービス】</b></p>  <p><b>【自撮り型写真撮影サイネージサービス】</b></p> 		
<p>主なKPI</p>	<p><b>【アウトプット指標（活動指標）】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①XRコンテンツの利用者数</li> <li>②プロジェクションマッピングコンテンツの利用者数</li> <li>③自撮り型サイネージコンテンツの利用者数</li> </ol>		<p><b>【アウトカム指標（成果指標）】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①地域ブランド調査における「市区町村魅力度ランキング」の順位</li> <li>②観光交流センターの年間来館者数</li> <li>③知立市歴史民俗資料館の来館者数</li> <li>④各種コンテンツ体験者の利用満足度</li> </ol>		

# 事業概要 【まちの魅力が向上する周遊デジタル化推進事業】

自治体名	大阪府富田林市	人口	107,396人	事業費	11,330千円
事業概要	<p>2025年大阪・関西万博来訪者を本市へ誘客するには、受入体制の整備が喫緊の課題である。また、本市での滞在時間を延ばすために、GPSと連携したデジタルマップやAR等のデジタル体験コンテンツを造成し、個人のスマートフォン等を使った便利でおもしろい滞在（まちの魅力向上）の実現を目指す。多言語対応機能を装備させ、外国人の受入体制も整備する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【①デジタルマップ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>GPSと連携したマップに市内観光地をスポット設定し、スポットではデジタル観光案内板として画像・テキスト等でその場所の解説を表示させる。</li> </ul> <p>【②デジタルコンテンツ体験】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪府唯一の「重要伝統的建造物群保存地区」である富田林寺内町にARスポット等を設置し、デジタルコンテンツ体験を付加する。</li> </ul>		 <p>周遊デジタル化推進</p> <p>デジタルマップ</p> <p>デジタルコンテンツ体験</p> <p>広報周知</p> <p>データ分析</p> <p>【広報周知】</p> <p>【デジタル体験】</p> <p>【データ分析】</p> <p>【デジタルマップ】</p> <p>まちの 魅力向上</p> <p>滞在中に延ばす 【デジタル体験】</p> <p>受入体制整備 【デジタルマップ】</p> <p>今後に続く 【データ分析】</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>デジタルマップ利用者数</li> <li>コンテンツ体験者数</li> </ol>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>利用者満足度</li> <li>平均滞在時間</li> </ol>		

# 事業概要 【VRコンテンツによる魅力発信事業】

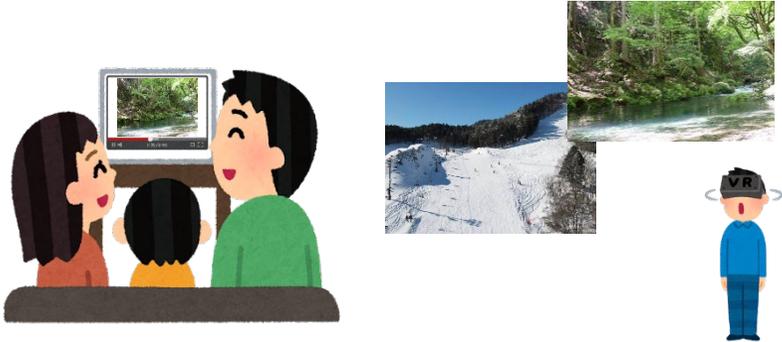
自治体名	大阪府箕面市	人口	139,211人	事業費	22,550千円
事業概要	<p>昭和50年をピークに減少し、かつ、紅葉期に集中している本市への観光客の通年誘客及び将来的な移住定住の促進を目的として、本市の魅力を感じることができるVRコンテンツの制作を行う。本市の最大の観光資源であり、四季によって異なる魅力を持つ豊かな自然をデジタル技術により1度に体感することで、観光客の増加・通年の誘客及び地元住民の郷土愛の醸成を図る。さらに将来的に交流人口から関係人口・定住人口への拡大を目指す。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【VRコンテンツの提供】 本市の四季によって変わる箕面国定公園をはじめとした豊かな自然資源や歴史・文化を一度に体験できるVRコンテンツを制作する。 オンライン上でVR映像を視聴するほか、将来的には観光客が訪れる大規模イベントへの出展や施設等において、VR映像の放映や映像・音・+αが体験できる空間型VRブースとして活用しPR活動を行う。</p>		 <p>市の魅力をVRコンテンツとして発信</p> <p>VR動画      空間型VR</p> <p>四季の魅力をバーチャル体験</p> <p>リアル体験を求めて来訪</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①VRコンテンツの再生回数</li> <li>②空間型VR体験人数</li> <li>③</li> </ul>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①明治の森箕面国定公園利用者数</li> <li>②リーサス観光マップ目的地検索ランキング検索数</li> <li>③空間型VR体験者の満足度</li> </ul>		

# 事業概要 【淡路市 商工会と連携した地域DX事業】

自治体名	兵庫県淡路市	人口	41,969人	事業費	80,000千円
事業概要	<p>地域住民及び観光客に対しDXによる交通課題の解決、周遊促進を行う。地域住民に対する課題調査の中で、バスなどの公共交通の情報が分かりにくいという課題が上がった。また、観光客に対する行動実態調査の中で、「観光にすきま時間が生まれるが、その時間でどんな観光ができるかわからない」という課題が上がった。デジタルマップを基本UIとして、公共交通の見える化、地域情報の一元化、クーポンの配信等により、課題の解決に取り組む。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>下記機能の情報をデジタルマップにより集約し地域住民及び観光客へ提供。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①地域店舗・観光情報：店舗情報やおすすめコース等、観光に特化したデジタルマップを作成し、デジタルサイネージやポスター等で周知することで情報の一元化・発信を行う。</li> <li>②移動可否の見える化：公共交通や民間事業者のバスのルートや位置情報、時刻表等に見える化し、住民及び観光客の不便さを軽減。</li> <li>③周遊促進：クーポンやスタンプラリーの実施により観光客の周遊促進と地域経済の活性化を行う。</li> </ul> <p>万博・IRに向け、多言語化により外国人観光客への対応もできるようにする。</p>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①マップのビュー数：4,500PV（R6年度）</li> <li>②クーポン利用者数：135人（R6年度）</li> <li>③スタンプラリー参加者数：90人（R6年度）</li> </ul>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①顧客推奨度：支援者率-批判者率&gt;0（R6年度）</li> <li>②周遊観光地数：1.3倍（R6年度）</li> <li>③バス利用者の増加：1,650人（R6年度）</li> </ul>			



# 事業概要【VR動画等制作事業】

自治体名	兵庫県宍粟市（SHISO CITY）	人口	34,603人	事業費	8,000千円
事業概要	<p>当市の最大の観光資源である豊かな森林資源等を活用したアクティビティをメインとしたVR動画を制作し、当市の魅力を疑似体験できるようにすることで、新たな関係人口・交流人口の獲得を図る。</p> <p>また、エリアごとの魅力を地元住民や市内観光関連事業者にも周知することで、事業者同士の連携促進を促し、周遊性の高い地域とすることで、地域の活性化を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【VR動画の制作・公開】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「ひょうごの森百選」等に選ばれている赤西溪谷でのセラピーバイク体験や「日本紅葉の名所100選」に選ばれている「最上山公園もみじ山」等を含めたVRの動画を制作し、YouTube等の媒体で周知する。</li> <li>イベント会場等で専用デバイスによるVR体験を実施し、関係人口・交流人口の獲得を図る。</li> <li>関係人口・交流人口の増加により、事業者同士の連携による新たな観光コンテンツの造成や地域の活性化を図る。</li> </ul>	 <p>アクティビティをメインとしたVR動画を制作。 専用デバイスによるVR体験をイベント会場や市内観光施設で実施。 YouTube等の媒体で、VR動画を公開。</p>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①VR動画の閲覧数の累計</li> <li>②年度ごとのVR体験者数</li> <li>③</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①観光入込客数</li> <li>②VR動画体験者の満足度</li> <li>③</li> </ol>			

# 事業概要【奈良県観光リコメンドサービス構築事業】

自治体名	奈良県	人口	1,294,619人	事業費	55,500千円
事業概要	<p>令和5年度は、奈良県への旅行を検討している日本人の周遊・滞在型観光及び観光消費額の増加を促進することを目的とし、個人の趣味趣向にあった観光スポット等をリコメンドするWEBアプリ「奈良県観光リコメンドサービス」を構築中である。</p> <p>令和6年度は、訪日外国人と奈良県へ何度も訪れたいと思っている人（リピーター）等に効果的なリコメンドを行うことで、リピーターの創出、新たな誘客に繋げることを目的に令和5年度と異なったターゲット層を意識した新たなサービスを構築する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>令和5年度サービス構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AIを活用し、旅行者が認知しているスポットを入力した上で、趣味趣向に応じたリコメンド情報を提供し、旅程を構築するWEBアプリを日本人向けに開発。</li> <li>・旅程に応じたショートムービーの作成及びSNSでの旅程の共有。</li> <li>・県や県の関係先が保有するデータベースや民間のデータベースと連携。</li> </ul> 			
	<p>令和6年度新サービス構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○訪日外国人や奈良県へ何度も訪れたいと思っている人（リピーター）等の新たな利用者層を対象とした新規サービスを構築</li> <li>・訪日外国人に向けた、全く新しいUX/UIデザインで設計した英語版を構築する。</li> <li>・令和5年度にはなかった「徒歩/自転車」に特化したリコメンドを新サービスとして構築する。</li> <li>・令和5年度は、日付と連動したイベントのリコメンドが不可であったが、来訪日に合わせたイベント（万博関連イベントを含む）を優先して提案する機能を新サービスとして構築する。</li> <li>・当サービスのPDCAサイクルを回し、ユーザビリティを高め、より効果的に来訪を喚起するため、旅アトのロコミを入力できる機能を新たに構築する。</li> <li>○データベースの強化</li> <li>・上記イベントのリコメンドサービスに付随して、民間データベースとのAPI連携のみならず、市町村や観光関連事業者等のイベント主催者が、イベントのリコメンド情報を登録する機能を新たに構築する。</li> <li>○情報連携基盤（奈良スーパーアプリ）との連携</li> <li>・奈良スーパーアプリで集約した観光イベント等の情報を当該リコメンドサービスに都市OSを通じて接続することで、観光客やリピーターに対し、効果的かつ効率的に観光イベント等の情報のリコメンドを行う。</li> </ul> 			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①「奈良県観光リコメンドサービス」が提案できる観光コンテンツの登録数＋イベント情報登録数</li> <li>②「奈良県観光リコメンドサービス」の延べ利用者数（国内）</li> <li>③「奈良県観光リコメンドサービス」の延べ利用者数（訪日外国人）</li> </ul>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①延べ宿泊者数</li> <li>②観光消費額</li> </ul>		

# 事業概要 【広川町の魅力発信と移住定住促進のためのデジタルWEB雑誌制作】

自治体名	和歌山県広川町	人口	6,545人	事業費	8,800千円
事業概要	<p>和歌山県広川町においては極端な少子化や高齢化を回避し適正な人口構成を維持することが必要である。そのため、全国的に地方移住への関心が高まっている状況を踏まえ、広川町の歴史・伝統・文化やふるさと納税など広川町の魅力発信による観光客数の増加と移住定住の促進を図る事を目的として、著名人を起用したデジタルWEB雑誌を作成し、SNS等で周知することで全国的に広川町の知名度を上げる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【デジタルWEB雑誌の作成、公開】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>広川町の歴史・伝統・文化やふるさと納税など広川町の魅力が分かり易く、親しみやすいデジタルWEB雑誌を作成</li> <li>既存パンフレット等に乗っていない新しい周遊プランを提案。</li> <li>SNS等でのシェアが容易で拡散力が強く全国に発信が可能。</li> </ul>		 <p>The image shows a digital magazine cover on the left with a woman in a white and blue outfit against a scenic background. Text on the cover includes '電子冊子' (Digital Magazine), '旅色' (Travel Color), and '常陸大宮でゆるむ時間' (Time to relax in Hitachi Daigo). On the right is a screenshot of the city's official website (市HP) featuring a banner for the magazine and a COVID-19 vaccination information box.</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①電子雑誌の閲覧数</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①入込観光客数 ②移住希望者の問い合わせ数</p>		

# 事業概要 【より安全で快適な海水浴場の環境確保事業】

自治体名	和歌山県白浜町	人口	20,202人	事業費	2,722千円
事業概要	<p>白良浜海水浴場ではライフセーバーによる遊泳者の安全監視を実施しているが、死亡事故等の発生や水上バイクの危険航行などが課題となっていることから、ライフセーバーの活動に加え、ドローンを活用した空中からの安全監視活動を実施するとともに、陸上からでは困難であった水上バイクの危険航行への注意喚起等を行うことで、より安全で快適な海水浴場環境の確保を図り、もって観光誘客の促進に資する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【ドローンを活用した海水浴場の安全監視等サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ドローンによる遊泳者の安全監視及び注意喚起</li> <li>ドローンによる水上バイクの危険航行への注意喚起及び記録並びに取締等関係機関への情報提供・情報共有</li> <li>立入禁止区域のアナウンス等</li> </ul>		 <p>The diagram illustrates the drone-based safety monitoring service. At the top, a drone is shown with a speech bubble indicating 'Announcement function for attention raising' and 'Camera-based safety monitoring and dangerous flight recording'. Below the drone, three scenarios are depicted: 1. 'Safety monitoring and attention raising for swimmers' showing a drone monitoring a group of people in the water. 2. 'Attention raising and recording for dangerous boat navigation' showing a drone monitoring a speedboat. 3. 'Announcement of no-entry zones' showing a drone monitoring a restricted area marked with a red circle and slash sign.</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>海水浴場者への注意喚起件数</li> <li>水上バイクへの注意喚起等件数</li> </ol>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>海水浴場での事故発生件数</li> <li>海水浴場等での水上バイク危険航行発生件数</li> <li>ドローンを活用した安全監視活動の回数及び日数</li> </ol>		

# 事業概要 【データ基盤・越境ECシステム構築事業】

自治体名	鳥取県倉吉市	人口	44,243人	事業費	84,300千円
事業概要	<p>倉吉市の経済活動を拡大させるため、令和7年春に開業予定の鳥取県立美術館や大阪・関西万博を契機にインバウンド強化を図る。現状は旅行者の正確な把握、経済活動の把握が出来ておらず行政の各種施策や地域企業のアクションの精度が高くない。増加を見込む観光客に対して適切な対応ができるよう倉吉市として地域企業や新事業立ち上げを検討する市民に対し関連データを収集公開し、経済活動を活性化させる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>今年度実施した調査データからインバウンドの主要国は香港、台湾、韓国になる。その中で現状、倉吉市に不足する、公共交通、各種案内、宿泊、飲食施設、お土産等を強化していくため、必要なデータを収集公開し地域企業に使いやすいオープンデータソースを確立する。その際、定量データだけでなく定性情報を取り揃えてデータに盛り込むことで地域企業が収益化につなげやすいデータとする。</p> <p>具体的には、市内事業者がインバウンド市場の主要国（台湾・香港・韓国）から訪日旅行者のニーズを定量的に把握し、可視化するためのデータを整理したDMPを構築。さらに、地元産業の海外への販路拡大を後押しするため、販売・物流・在庫管理などの越境ECシステムを構築。本市でチャレンジする際のハードルを大きく下げることで経済活動の活性化を促進する。</p>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①DMPアクセス回数</li> <li>②ECサイトアクセス回数</li> </ul>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①ECサイト売上額</li> <li>②DMP利用者満足度</li> <li>③ECサイト利用者満足度</li> </ul>		

# 事業概要 【AIオンデマンド×地域通貨・スーパーアプリによる利便性・魅力向上】

自治体名	岡山県真庭市	人口	41,740人	事業費	55,880千円
事業概要	<p>令和5年10月運行開始のAIオンデマンド交通(地域通貨決済可)について、マイナンバーカード連携を含む地域通貨のスーパーアプリ化・AIオンデマンド交通魅力向上機能の実装により、予約・乗継、位置情報に応じた観光等情報発信、個人属性に応じた支払い等をシームレスに実現し、住民利便性・観光の魅力向上を図る。又、旅先納税サービス機能を実装し、回遊性の高い交通網を滞在型観光、真庭ファン獲得、地域への寄附・投資に繋げる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>約13,000ユーザー(令和6年1月現在。市民の1/4以上に相当。)を有する地域通貨について、マイナンバーカード連携含むデータ・サービス連携が可能なスーパーアプリを構築し、下記機能(アプリ)を実装する。</p> <p><b>▼AIオンデマンド交通魅力向上機能</b> AIオンデマンド交通の予約・乗継から位置情報に応じた観光・クーポン等情報発信、個人属性に応じた支払いをシームレスに実現するAIオンデマンド交通魅力向上機能</p> <p><b>▼旅先納税サービス機能</b> 来訪者が旅先等で地域通貨を通じふるさと納税を行える機能及び地域への“コト消費”を喚起する返礼コインを発行できる機能</p> <p>※地域通貨での地域プロジェクトへの投資(クラウドファンディングプラットフォーム)機能についても実装を検討</p>	<p><b>地域通貨・スーパーアプリ</b></p>  <p>真庭市が連携するその他サービス群</p> <p>個人認証・SSO実現</p> <p>マイナンバーカード</p>	<p><b>AIオンデマンド魅力向上アプリ(仮称)</b></p> <p>AIオンデマンド予約システム(既存)</p> <p>↓ スーパーアプリ・他サービスとの連携、機能拡張による利便性・魅力向上</p> <p><b>観光活用</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>ポータルからの柔軟な移動手段提供(任意地点400以上)</li> <li>位置情報に応じた情報配信・ふるさと納税(旅先納税)機能との連携(投資の呼び込み)</li> </ul> <p>⇒来訪者の利便性向上・魅力アップ！ 新たな利用者層・真庭ファンの獲得！</p> <p><b>地域通貨/マイナンバーカード連携</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>地域通貨と連携した支払い(個人属性に応じた割引)</li> </ul> <p>⇒個人属性に応じた利便性の高いサービスの提供！更なる利用の促進！</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標(活動指標)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①AIオンデマンド交通サービスの実利用者数</li> <li>②AIオンデマンド交通サービスの市外利用者の割合</li> <li>③返礼コイン発行額</li> </ol>	<p>【アウトカム指標(成果指標)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①AIオンデマンド交通サービスの満足度</li> <li>②来訪エリアでの平均消費金額</li> <li>③地域通貨によるふるさと納税額</li> </ol>			

# 事業概要 【福山市公園施設デジタル化事業】

自治体名	広島県福山市	人口	458,460人	事業費	50,456千円
事業概要	<p>市内に約700ある公園の詳細情報をGISシステムを使用したアプリで公開し、公園利用者の利便性向上を図る。その効果として、公園施設に対する市民満足度向上、来園者増加を目指す。</p> <p>また、当該アプリは投稿機能を備え、遊具など公園施設の不具合情報を、利用者から迅速に投稿してもらうシステムを構築して、修繕等の対応完了までの時間短縮化を図る。</p>				
具体サービス	<p>【公開型GIS・投稿アプリサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公開型GISを活用し、園内施設の詳細を公開するサービス</li> <li>・公園内に設置したQRコードをSNSで読み込み、公園施設の状況等を投稿できる市民参加型の管理サービス</li> </ul>	<pre> graph LR     A[公開型GIS・投稿アプリサービス] --&gt; B[公園施設に対する市民満足度向上]     A --&gt; C[市内外からの来園者増加]     </pre>			
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①投稿アプリによる投稿数</li> <li>②公開型GISの年間アクセス回数</li> </ul>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①投稿アプリによる対応時間の短縮</li> <li>②サービス利用者の満足度</li> </ul>			

# 事業概要 【市オリジナルVtuberによるシティプロモーション事業】

自治体名	広島県府中市	人口	35,888人	事業費	3,370千円
事業概要	<p>・市制施行70周年記念事業として住民投票の結果選ばれた市オリジナルキャラクターをVtuber化し、本市に係る情報発信を行うことで、若い世代に注目してもらう。</p> <p>・交流人口・関係人口の増加、市内産業・観光の再興ひいては若年層の移住につなげるため、Vtuberという共通軸を用いた分野横断的なトータルブランディングを図る。</p>				
具体サービス	<p>【Vtuber→バーチャル観光大使&amp;リアル展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市制施行70周年記念事業として住民投票により選ばれた市オリジナルキャラクターを3Dモデル化</li> <li>・キャラクターのネーミング募集、および所謂「中の人」（キャラクターの声優・演者）オーディションを行い、作成過程において住民の参画を促し、「地元発のキャラクター」として対外的発信力を強化</li> <li>・市紹介動画（基礎情報、観光情報等）を作成、市内デジタルサイネージ・SNS等で放映</li> <li>・市イベント・市政情報を発信する動画を作成、発信（随時）</li> <li>・市外へのPR効果を狙い、他Vtuberとのコラボ</li> <li>・オリジナルグッズ作成・販売</li> <li>・地元企業とのコラボPR動画作成・コラボ商品開発</li> <li>・市内飲食店とのコラボカフェ、観光地へのパネル設置、衣装公募</li> </ul>	<p>【キャラクターの特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内に生息する、国蝶 オオムラサキをイメージ</li> <li>・かつての備後国（現：広島県東部）の国府があったことから、歴史観を和風コスチュームで表現</li> </ul>			
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①Vtuberの発信コンテンツ（動画）数</li> <li>②Vtuberの総フォロワー・チャンネル登録者数</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①総観光客数</li> </ol>			



# 事業概要【VR体験コンテンツ導入事業】

自治体名	山口県周防大島町	人口	13,929人	事業費	2,414千円
事業概要	<p>周防大島町の観光スポット各所にスマートフォンやタブレット端末で誰でも手軽に楽しめる体験型のデジタルコンテンツを設置することで、本町を訪れる観光客の集客を図る。またデジタルコンテンツ設置場所にデジタルスタンプを合わせて設置し、本町をスタンプラリー形式で楽しく観光できる仕組みを導入することで観光客の周遊を促し、地域の活性化を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p><b>【VR体験コンテンツ】</b> 2次元バーコードを読み取ることでVRコンテンツを体験できるサービス。 VRコンテンツはクラウド上にあり、各種ブラウザで動作するため、利用者は自身のスマートフォンやタブレット端末で2次元バーコードを読み取るだけでVRコンテンツを体験できる。</p> <p><b>【デジタルスタンプラリー】</b> スマートフォンやタブレット端末を使ったスタンプラリー機能を実現できるサービス。 スタンプシートはクラウド上にあり、自身のスマートフォンやタブレット端末で2次元バーコードを読み取ることでスタンプを獲得できる。アプリのインストール等が不要であるため、誰でも手軽に参加できる。</p>	 <p>観光地に配置した2次元バーコードをスマホで読み取る</p> <p>VR体験コンテンツイメージ図</p> <p>デジタルスタンプイメージ図</p>			
<p>主なKPI</p>	<p><b>【アウトプット指標（活動指標）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①コンテンツ展開数</li> <li>②コンテンツ体験回数</li> <li>③スタンプラリーの利用者数</li> </ul>	<p><b>【アウトカム指標（成果指標）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①コンテンツに対する満足度</li> <li>②年間観光交流人口</li> <li>③スタンプラリーの満足度</li> </ul>			

# 事業概要 【AIカメラ導入事業】

自治体名	徳島県阿南市	人口	69,005人	事業費	4,860千円
事業概要	<p>阿南市では「野球のまち阿南」推進事業として、県内外の野球チームの誘致や野球イベントの開催等、「野球」による地域経済の活性化を行っている。メイン球場である、JAアグリあなんスタジアムにAIカメラを導入し、ローカルスポーツ・アマチュアスポーツを配信することでスポーツツーリズムの拡大をはかり地域経済の活性化を推進する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>JAアグリあなんスタジアムのキャッチャー側とセンター側にAIカメラを設置し、複数アングルによる自動試合中継が可能となる。</p> <p>【映像販売・動画視聴サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会、合宿映像をDVDとして販売し、大会出場記念映像やチーム強化等に活用することが出来る。</li> <li>・学童、還暦野球大会、野球合宿等の普段は放送されないローカルスポーツの試合等をライブ映像やアーカイブ映像で配信することで、現地に来ることが難しい遠方の方や家族の方も視聴することが出来る。</li> </ul>		 <p>『DoublePlay』のAI自動撮影/編集とは</p> <p>AIカメラをキャッチャー側、センター側に2台設置することで、<b>複数アングル</b>による<b>臨場感あふれる自動試合中継</b>がカメラマン要らずで簡単に可能</p> <p>設置イメージ</p> <p>2台の専用AIカメラで自動映像配信</p> <p>電源 インターネット</p> <p>Behind Centerfield</p> <p>Behind Home Plate</p> <p>複数アングルによる自動試合中継</p> <p>試合実況やスコアボードの入力も可能</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①AIカメラ利用累計数</li> <li>②動画配信のアクセス数</li> </ol>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①映像（動画視聴・DVD）販売数</li> <li>②AIカメラ利用満足度</li> </ol>		

# 事業概要 【メタバース活用による情報発信・交流拡大事業】

自治体名	香川県	人口	924,620人	事業費	10,000千円
事業概要	<p>2025年大阪・関西万博では、メタバースで「バーチャル万博」が開催され、参加者はアバターを介して各国の企業、自治体などがメタバースに出展する様々なコンテンツを体験できることとなる予定である。香川県においては、大阪・関西万博に関心のある人などを県オリジナルのメタバースに誘導し、その中で、当県の代表的な観光地や絶景スポット、アクティビティを体験してもらうことで、認知度向上や将来的な来訪につなげるため、同万博後も引き続き活用していくことを前提に、「香川県 情報発信・交流拡大メタバース（仮称）」を創設する。</p>				
具体サービス	<p>○情報発信・交流拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>香川県に興味があったり、行きたいと思っているが、時間的、地理的、身体的な理由など、様々な事情で行くことができない、行ったことがない方々に対し、香川県の自然や観光地が持つ美しさや魅力をメタバースやVRコンテンツ等に落とし込み、リアルに近い観光体験を提供する。</li> <li>メタバースの主な利用者である若年世代により香川県の魅力を伝えることができるよう、コミュニケーションツールとしてのメタバース空間を構築し、観光案内機能の実装を目指す。</li> <li>メタバース内で県産品等の商品を陳列しオンライン販売することで、新規販路として活用し、県産品の知名度の向上や販売額の拡大を実現する。</li> </ul> <p>○誰一人取り残さない社会の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内の人気の高い観光地やバリアフリーに対応できないが人気の高い観光スポット等をメタバースで再現することや、その中に360度撮影カメラ等による観光地のVRコンテンツ等を実装することで、精神や身体的な事情などにより直接の訪問が難しい方々であっても、観光地をリアルに感じられるサービスを提供する。</li> </ul>			 <p>○県内の観光地等をメタバースで再現例) 特別名勝栗林公園</p>	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①メタバース空間のアンケート回答者数</li> <li>②メタバース空間への平均滞在時間</li> </ul>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①メタバース空間の活用をきっかけに香川県に興味を抱いた者の数</li> <li>②メタバース空間の利用満足度</li> <li>③県産品の販売額（メタバース空間を活用したオンライン販売）</li> </ul>			

# 事業概要 【丸亀城内サイン整備（QRコード）事業】

自治体名	香川県丸亀市	人口	108,068人	事業費	1,964千円
事業概要	<p>丸亀城内の要所に案内看板やサインスタンドを設置し、QRコードの活用を行い、城内の見所案内や天守をはじめとする城内各施設の案内を音声や画像、多言語対応で実施し、観光客などへのサービス内容を充実させ、天守入場者数や城内周遊者数の増加を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【QRコードの活用】 城内の見所や施設等の案内</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声案内</li> <li>・画像案内</li> <li>・多言語対応（4ヶ国語） 英語、簡体字、繁体字、韓国語</li> </ul>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①QRコード設置数</li> <li>②QRコードを介してHPにアクセスした人数</li> <li>③</li> </ol>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①天守の入場者数</li> <li>②天守の入場者数（外国人）</li> <li>③アンケートによる利用者満足度</li> </ol>		

# 事業概要 【デジタルサイネージ整備事業】

自治体名	福岡県久留米市	人口	301,598人	事業費	27,626千円
事業概要	<p>本市の主要施設や駅・大型商業施設に、クラウド管理されたデジタルサイネージを設置し、久留米市の観光名所、豊富な農産物、文化・芸術イベント、お出かけ情報を発信することで、本市及び周辺自治体の住民に久留米市の魅力を伝え、食文化・まちなかの賑わい文化を通し交流の促進と活性化に繋げる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【デジタルサイネージによる情報発信サービス】 市の主要施設や駅・大型商業施設にデジタルサイネージを設置し、市内の観光名所や旬の農産物、文化・芸術のイベント、お出かけ情報を適時発信する。</p>	<div data-bbox="1100 429 1974 1190"> <p>□クラウド型デジタルサイネージ</p> <p>コンテンツ管理/放映管理/配信管理システム</p> </div>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①デジタルサイネージ利用者数</li> <li>②</li> <li>③</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①デジタルサイネージの利用者満足度</li> <li>②来訪者数</li> <li>③</li> </ol>			

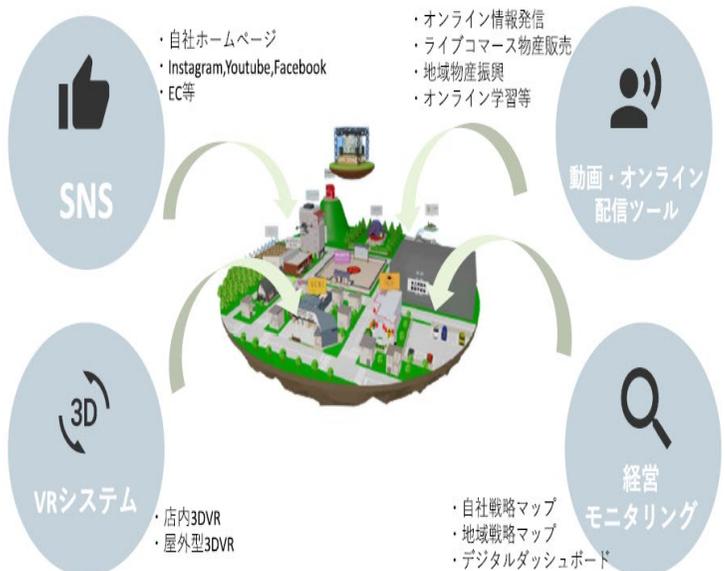
# 事業概要 【観光DX事業】

自治体名	熊本県山都町	人口	13,300人	事業費	28,427千円
事業概要	<p>国宝指定、IC開通もあり、今後本町に観光に来られる方が増える中で、デジタルでの情報案内、インバウンド対応がなにもできないことが課題です。そのため、LINE上に部門毎に閲覧できる観光マップを制作し、GPSと連動した観光客に分かりやすいMAPを作成し、さらにデジタルスタンプラリーや多言語観光案内を併用することで、観光スポットを周遊できる仕組みや観光先に行って楽しめる・満足できる仕組みをつくり、観光客満足度向上を図る。</p>				
具体サービス	<p>【①デジタルマップ活用事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>GPSで現在地が分かるため、目的地までの道順が分かる。</li> <li>観光地の情報、店舗の設備情報も得られる。</li> <li>山都町を周遊する楽しさを提供でき、更に知られていないスポットにもいける機会を提供できる。</li> </ul> <p>【②観光施設多言語整備受入事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各観光施設の見どころを外国人に提供できる。</li> <li>町内観光施設の案内も一緒に表示されるため、周遊促進につながる。</li> <li>年間のイベント情報を配信し、山都町に興味を持ってもらい、リピーターの獲得に繋げる。</li> <li>観光施設の注意喚起動画を配信し、地域住民及び施設の保全を図る。</li> </ul>		<p>【③Wi-Fiセンサー設置によるデータ取得事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>該当拠点にデータ取得範囲半径50mのWi-Fiセンサーを設置し、観光客が所有するスマホからSSIDを取得し、訪日外国人国別分析また、国内旅行者を都道府県別に分析できる。</li> <li>分析データをより明確に解析し、地域及び該当拠点にデータの提供をすることにより、有効的な観光戦略を立てることができる</li> </ul>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①デジタルマップ利用者数</li> <li>②多言語説明施設説明サイト訪問数(アクセス数)</li> <li>③施策(データ活用含む)による施設道の駅3か所の来訪者の増加率</li> </ul>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①年間観光客の増加</li> <li>②訪問者への顧客満足度調査に基づく評価</li> </ul>		

# 事業概要 【デジタルデバイス及びAI活用による渋滞緩和対策事業】

自治体名	大分県由布市	人口	33,580人	事業費	10,780千円
事業概要	由布市湯布院地域が抱える交通渋滞対策として、AIカメラ、ビッグデータ、過去の教師データからリアルタイムの渋滞状況を予測し、道路利用者に対して、多様なデジタルデバイス（由布市公式アプリ（ゆふポ）や公式LINE、カーナビ等）の利活用により、効果的に発信し、渋滞抑制を図る。				
具体サービス	<p>【AI活用による渋滞予測と情報発信】</p> <p>交通渋滞が発生しやすい箇所へAIカメラを設置し、AIカメラから入手した情報、プローブデータ情報に基づき、未来予測を行い、過年度までに実施したデジタルサイネージやポータルサイトへの情報発信に加え、カーナビ等で周知を行い、渋滞緩和を図る。</p> <p>通称：「ゆふいん行くなら裏道で」（ポータルサイト名）</p>	<p>【R5】 ①リアルタイムデータ (AIカメラ)</p> <p>【R6】高精度な交通状況データを拡充・活用 ②ビッグデータ ③過去の教師データ</p> <p>【R5】渋滞予測</p> <p>【R6】リアルタイムな渋滞データを拡充して面的(線的)に可視化</p> <p>【R5】各種媒体で情報発信</p> <p>【R6】プッシュ型情報発信</p> <p>交通実験HP</p> <p>由布市公式アプリ ゆふポ 公式Line</p> <p>関係機関 HP・SNS</p> <p>カーナビアプリ</p> <p>デジタルサイネージ</p>			
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①情報発信回数 ②渋滞検知率</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①由布市公式アプリ ダウンロード数 ②迂回路等の利用率 ③県道216号の速度向上率</p>			

# 事業概要 【メタバース（仮想空間）没入型「たかはるサービスエリア」構築事業】

自治体名	宮崎県高原町	人口	8,109人	事業費	10,000千円
事業概要	メタバースによる高速道路の「仮想サービスエリア」を構築し、バーチャル交流による観光・物産振興（観光スポット等の動画・VR技術による情報発信等）など総合的な地域創生につなげる。また、仮想サービスエリアにオフィスビルや町営団地を隣接させることにより、エリア内での誘致企業認定証や住民票を発行する。これらに関連する交流人口、雇用創出を前提としたクロスメディア（仮想と現実）の町づくりを目指す。				
具体サービス	<p>【利用者向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 利用者は、スマートフォン等からオンラインで「メタたかはるサービスエリア（仮称）」に入り、観光情報等の取得、物産品の購入、さらには、町営オフィスビルや町営団地への入所・入居が行える。実際に、デジタル誘致企業認定証やデジタル住民票の発行を行うことにより、本町の各種サービスや支援事業等も得られるようになる。</li> </ul> <p>【管理者向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 交流人口・関係人口の可視化。</li> <li>• 利用者ごとの利用金額の計算、利用履歴の確認等についても、補助機能により利用可能となる。</li> <li>• 参加企業や出店企業個人などのシームレスなDX化（インバウンド・キャッシュレス決済・VR化等）</li> </ul>	 <p>The diagram illustrates the integration of various digital services around a central virtual town. The central model is a 3D rendering of a town with buildings, roads, and greenery. Four circular nodes are connected to it by curved arrows, representing different service areas:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>SNS:</b> Includes a thumbs-up icon and lists: 自社ホームページ, Instagram, Youtube, Facebook, EC等.</li> <li><b>動画・オンライン配信ツール:</b> Includes an icon of a person with a speech bubble and lists: オンライン情報発信, ライブコマース物産販売, 地域物産振興, オンライン学習等.</li> <li><b>VRシステム:</b> Includes a 3D icon and lists: 店内3DVR, 屋外型3DVR.</li> <li><b>経営モニタリング:</b> Includes a magnifying glass icon and lists: 自社戦略マップ, 地域戦略マップ, デジタルダッシュボード.</li> </ul>			
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①サービスエリア利用者数</li> <li>②デジタル誘致企業認定数</li> <li>③デジタル住民票交付数</li> <li>④事業マッチング件数</li> <li>⑤災害支援寄附件数</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①EC利用数（物産品販売数）</li> <li>②サイト内オフィスビル・団地入居者数</li> <li>③町民の雇用環境満足度</li> <li>④町民のまちづくり参画関心度</li> </ol>			

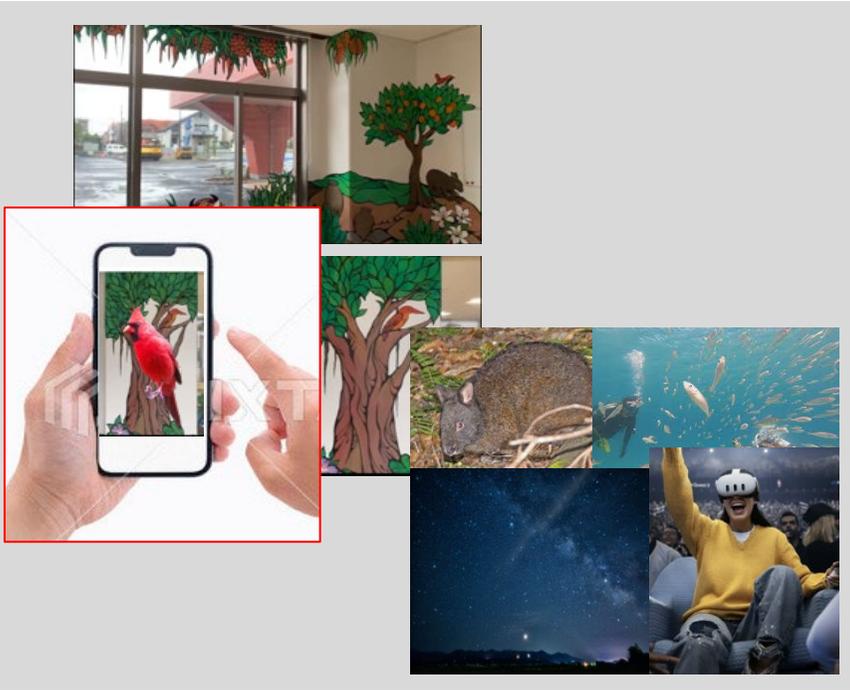
# 事業概要【観光施設（ヘルシーランド）DX推進事業】

自治体名	鹿児島県指宿市	人口	37,183人	事業費	6,815千円
事業概要	<p>観光施設にキャッシュレス決済とオンライン予約システム、デジタルサイネージ及びパワーアシストスーツを導入する。この取り組みは、訪問者の利便性向上と効率的な運営を目的とし、最新のデジタル技術を活用して地域観光の活性化を図る。また、データ分析による顧客満足度の向上と地域経済への貢献を目指す。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【Airレジ及びAirペイ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>注文と決済が迅速に行えることで、待ち時間の削減。</li> <li>自動釣銭機の導入による受取金や釣銭の間違い防止によるトラブル防止。</li> <li>様々な支払い方法の選択肢により、支払いへの柔軟性と利便性の向上。</li> </ul> <p>【Airリザーブ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オンラインでの簡単予約により、現地での手続きの簡素化。</li> <li>施設利用前の確実な予約により、計画的な旅行や訪問が可能に。</li> </ul> <p>【多言語対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>翻訳機を活用した、多言語対応。</li> <li>デジタルサイネージによる、多言語に対応した観光案内の提供。</li> </ul> <p>【パワーアシストスーツ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作業の迅速化により、待ち時間の短縮とサービス提供のスムーズ化を実現。</li> </ul>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①導入されたキャッシュレス決済の利用件数</li> <li>②Airリザーブを通じたオンライン予約の件数</li> <li>③デジタルサイネージのコンテンツ配信数</li> <li>④アシストスーツを活用して接客数を行う回数</li> </ol>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①顧客満足度の向上率</li> <li>②訪問客数の増加率</li> <li>③新しい決済方法の顧客満足度調査結果</li> </ol>		

# 事業概要 【武家屋敷体験型コンテンツ導入事業】

自治体名	鹿児島県南九州市	人口	32,106人	事業費	11,963千円
事業概要	<p>国の伝統的建造物群保存地区「知覧武家屋敷庭園群」では、訪れる観光客の滞在時間の拡大や観光ガイドの高齢化・人材不足などの課題を抱えている。</p> <p>本事業において、武家屋敷の面白さや奥深さを分かりやすく伝え、エンターテインメント性も備えた「武家屋敷AR体験コンテンツ」を導入し、「誰もが」「いつでも」体験可能なサービスを展開することで観光客の誘致促進を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>武家屋敷AR体験型アプリの開発 築園された当時の街並みや、普段立ち入ることのできない武家屋敷の生活空間等をARを用いて再現し、視覚的に楽しむことができるアプリを開発。訪れる観光客に充実した時間を過ごしてもらい、滞在時間の拡大を図る。</li> <li>タブレット端末の導入 アプリのサービス提供を補完するためにタブレット端末も導入。 訪れた来訪者の満足度を高め、再来訪を促進するとともに、SNS等での情報拡散を図る。</li> </ul>	<p><b>観光客</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>滞在時間の拡大</li> <li>体験型観光への対応</li> <li>インバウンド需要の回復 ⇒多言語対応</li> </ul> <p><b>観光ガイド</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>繁忙期の対応</li> <li>観光ガイドの高齢化</li> <li>ガイド機能の補完</li> </ul> <p><b>市内小中学生 修学旅行生</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歴史学習としての活用</li> <li>体験素材の提供</li> </ul>	 <p>武士の暮らしを再現</p> <p>街並みの再現</p> <p>生活空間の公開 (非公開部分)</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>武家屋敷ARアプリのダウンロード数</li> <li>タブレット端末の利用者数</li> </ol>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>武家屋敷への入園者</li> <li>アプリ利用者の滞在時間</li> <li>アプリの利用者満足度</li> </ol>			

# 事業概要 【観光アプリ実装&道の駅観光拠点化事業】

自治体名	鹿児島県大島郡徳之島町	人口	9,668人	事業費	47,600千円
事業概要	<p>徳之島に訪れた観光客用のパンフレット等を紙媒体ではなく、手軽に快適で充実した旅を送ることができるアプリケーションの制作を行う。さらに、2024年12月に開設される道の駅を観光拠点として利用促進するためのデジタルコンテンツを拡充する。観光客の満足度の向上と、観光サービスによる地域の活性化並びに道の駅の利用促進を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>徳之島の観光客を対象としたアプリケーションを制作</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 島の案内MAPを掲載</li> <li>- 観光スポット・アクティビティの紹介</li> <li>- 周遊を促すスタンプカード機能</li> <li>- 飲食店・お土産店の紹介</li> <li>- クーポン発行機能の搭載</li> <li>- アートや文化をAR体験できる機能</li> </ul> <p>「道の駅とくのしま」のデジタルコンテンツの拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 公式HPの開設</li> <li>- ECサイトの開設</li> <li>- 徳之島の自然や文化を疑似体験できるVRコンテンツの制作と常設</li> </ul>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①観光アプリケーションのダウンロード累計数</li> <li>② 「道の駅とくのしま」V Rコンテンツ利用者数</li> <li>③ 「道の駅とくのしま」公式H Pのアクセス件数</li> <li>④ 「道の駅とくのしま」ECサイトの販売件数</li> </ol>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①観光アプリケーションサービスの満足度</li> <li>② VRコンテンツの利用満足度向上</li> <li>③ 「道の駅 とくのしま」公式HPの利用者満足度</li> <li>④ 「道の駅 とくのしま」のECサイト売上増加</li> </ol>		